

夕刊 常新警 日六十月九 發行所 常新警新聞社 電話一四七

補助警察官で村を治める渡邊村

消防組幹部が交代で其衝に當る

縣下一若手永山組頭の德行

非常時局下の餘波で植田署で夜の十二時迄村内を巡回...

所長の新研究

氣象と肺結核

氣象と肺結核、といふ珍聞の入院患者を調査した結...

護國の勇士

山本上等兵 山本上等

兵小名濱町中野出身牧野部

九月十六日より十七日迄五五の管だが、町民は防空の重...

今夜防護團長の講評

好績を収めて小名濱防護團

九月十六日より十七日迄五五の管だが、町民は防空の重...

小名濱漁業組合總會

東日本丸を中心として

廻航を待つて進水式

小名濱漁業組合には十六日、延期になつた事を報告する...

煙草栽培指導

渡邊村の會合

泉信用組合長

志賀氏の抱負の實現へ

泉信用組合長に就任せる志

泉信用組合長に就任せる志

神社の銅板

知らぬ顔の神職殿

小名濱神社本殿を圍むの事實を神職殿は知

石城梨の中央相場

昨年より約一割高

一箱平均二圓三六錢

石城梨組合聯合會では既

報の如く赤井尾三内組合及

び大野村藥王寺組合の石城

品評會

長十郎

長十郎の出荷期間中組合聯

合會では中央市場で品評會

を主催するが出品資格者は

自家生産にかゝる長十郎種

を聯合會の斡旋で東京市場

古港女子青年團

毛織物織造總進

小名濱町古港女子青年團は

十六日集團となり毛織物の

獻納に協力して欲しいと各

家庭を訪問して、従後の奉仕

に擧げてゐる

區町村教育會

會場、名濱講堂

第一區町、教育會、明十七

日午前十時より小名濱講

堂に開催するが講師として

縣師範小池元吉氏が臨席す

る

勇士の妻女奇禍

祭崎村上湯長谷渡なべふよ

祭崎村上湯長谷渡なべふよ

のさ八三三は五日午前九時

頃第二警隊の地均く工事に

出役作業中土砂崩壊の下敷

きとなつて壓死した、ふよ

のさんは夫君止行君應召後



泉村小學校表裏校舎は腐朽甚しく暴風雨の際は父兄の橋の種となつてゐるが、先日は授業中に裏板が墜落し、役場に報告を發した程に、日も修築を延引することは不安の端を大にするのみならず、村長が子弟を學校に通學させるに不満不平を洩してゐるが、村當局は如何なる善後策を講じて居らうかと、村の事情を調査して見た、泉村には學増設の急なるに、設計も立て、縣當局に請ひ、起債認可方を申請したが、縣、並に政府の方針として、時局起債の認可は不可能の狀勢下であり、第一の方法として多額納税者江尻村長が非常時解消迄、泉村に三萬圓を貸付ける交渉もしたが實現に至らず、往復今日に至つたが、而して事務上に何等の障礙なき役場改良に三萬圓を投じて來月より着工する手筈となつた、その資金は村の戸数割より大体支出し、不足金は一般有志者の寄附と云ふことになつてゐるが、學校改築案とは何れが急を要するかを比較した時に何人も泉村の才居を嘆息するなきであらう、泉村長江尻氏は多額納税

議員資格で金貸しが本職である、立派な擔保があれば進んで金を貸すその金貨商賣の泉村長が泉村全体が連帶的責任を持つべき子弟救済の殿座たる學校改築に何故金が出せないか世が世であれば一つの文句なしに縣當局でも政府當局でも起債認可並に融資は意の如く行くべきである、この非常時局下であればこそ地元支隊なき理事者が頂て居りながら不安裡に子弟を破れ學校に寄託せざるならぬとは泉村として他聞を取なればならぬと共に村議連の無能と江尻村長の無理解には泉村ならでは見られぬ醜態である

宮津醫院
 内科外科 小兒科
 花柳病科 耳鼻科
 小名濱町 電話四二番

湯本無盡
 御加入を御すすめる
 一家の延長として
 契約者本位

小瀧は招く
 一日の清遊には
 ござぞ小瀧鑛泉へ！
 鐵道指定旅館
 小瀧鑛泉
 電話小名濱一〇三

會田醫院
 内科・花柳病科
 外科・小兒科
 院長 會田亮
 小名濱町上横町

産婦人科 専門
 小名濱町登記所先
森口醫院
 電話二〇一番
 (入院手術室完備)

齒科 一般
佐々木齒科醫院
 日本齒科醫學士
 佐々木三郎
 泉村、學校前 電話一五番

各種ゴム靴
 三馬印 弘進印
 ゴム合羽製 各種前掛製
 ゴム前掛製 革靴運動靴式
 草履製靴式
小島製靴店
 福島縣小名濱

壽しは杵ずし
 江戸前小料理
 銘酒は生一本
平本店
 銀座通り電六七九
小名濱支店
 中島通り電四七

皆様おなじみの
 御料理 御仕出し
書樂
 中島電話四十七番

銘酒「清世界」吟醸
清水屋本
 各種價百パーセントの
 各種罐詰も販賣致します
 産院の設備も充實致しました
 電話も開設致しました
 何卒御利用下さい
 産婆 近藤かぬ
 小名濱町後宿 電話三三三番

小名濱町通島中
 電話六番